

横浜市立大学学術情報センター

貴重書 月替わり展覧会リーフレット (146)

2023年11月の作品は
「明治改正東京全図」②
— 現代に向かう東京—

展示テーマ

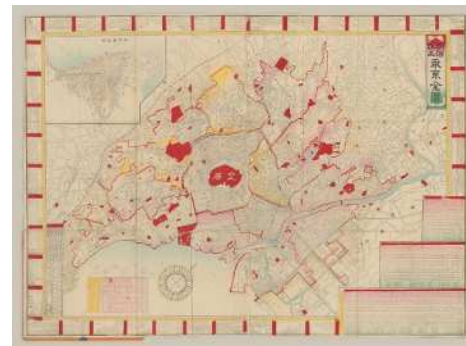
～東京市の現在～

「明治改正東京全図」に描かれる東京市は、麹町区、神田区、日本橋区、京橋区、芝区、麻布区、赤坂区、四ツ谷区、牛込区、小石川区、本郷区、下谷区、浅草区、本所区、深川区の15区となっている。昭和18年(1943年)7月に東京が市制から都制に移行し、東京市が廃止されるまでは、東京府東京市として存在したこの地域。この地域の中に、現在にも名称が生き残った地域というものは、実はもう一つもない。

現在これらの地域は東京23区として、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区へと変化している。

さらに、「明治改正東京全図」で名勝とされた場所には、現在では大きく姿を変えたものも存在する。それらは今、どのような姿になっているのだろうか。地図に描かれた情報から確認する。

元国際総合科学部 国際総合科学科 国際文化コース



「明治改正東京全図」

(1枚)

明治時代、明治23年(1890年)

作者：不明

版元：嵯峨野彦太郎

縦52.5cm × 横73.7cm



この地図は、明治時代中頃に書かれた地図で、東京府内15区と6郡の詳細地図、名勝地の絵図、各区群の村町の詳細や、横浜市街図が記録されている。東京府内15区と6郡の戸数、人口、さらには東京近辺の汽車時刻表と運賃表などの細かな情報も書かれており、当時の「東京」を知るために役に立つ地図である。

特に、東京府内にあった名勝地が詳しく記載されているため明治時代の観光名所とされた場所と当時の様子を知ることができ、見応えがある。

展示の見どころ

～変化した東京～

「明治改正東京全図」で名勝とされた場所には、現在では大きく姿を変えたものも存在する。明治時代に名勝だった場所の現在は、どうなっているのか。ここでは、時代が変化するにつれて、姿を消してしまったものについて確認する。

右上から、



・海運橋第一銀行

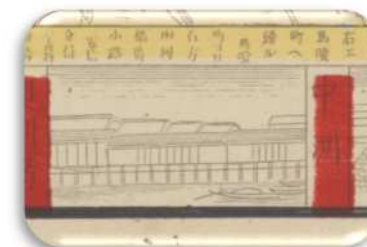
明治5年にできた建物。

石碑が建てられているが、橋と銀行はなくなっている。

・中洲

隅田川の中洲が埋め立てられた場所。

中洲河岸があったが、今は残っていない。





・新橋ステーション

移転したため、現在の場所とは異なる。

・芝紅葉館（紅葉館）

明治～昭和期に芝区芝公園 20 号にあった、会員制高級料亭。今は存在しない。



・吉原

新吉原。

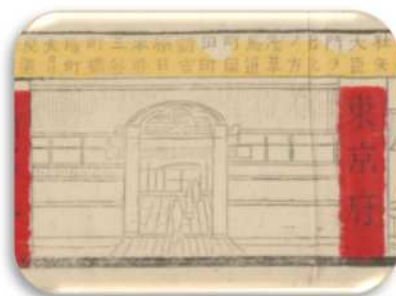
昭和 32 年（1957 年）施行の売春防止法によってなくなる。



・東京府

戦災で焼失。

庁舎跡が千代田区丸の内 3 丁目 5、国際フォーラム内に残る。

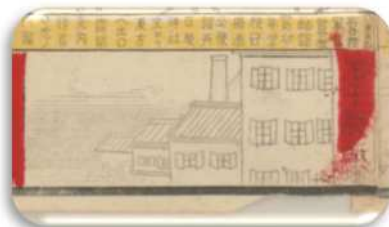


・新富座

新富町にあった歌舞伎劇場。

市川團十郎などを集めて積極的に興行を行っていた。

大正 12 年（1923 年）の関東大震災で焼失。



・王子製紙場

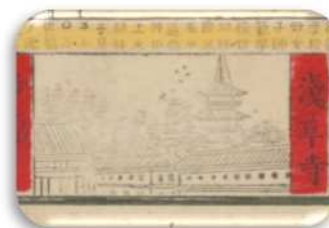
王子製紙株式会社の工場。

昭和 18 年（1943 年）に休止した。

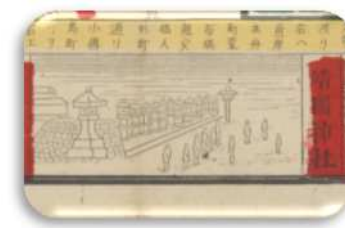
以上 8 つの名勝地が姿を消してしまったように、明治時代から現在へと時代が変化するにつれて、「東京」という都市は変容を遂げてきた。

しかし、浅草寺や靖国神社などの神社仏閣や、鉄砲洲通りなど通りの名前など、現在にも姿を残しているものもある。古地図を見つめ、現在の姿と比較することで、このような変化した「東京」と昔そのままの「東京」の両方を楽しむことができ、そこにこの地図の面白さを感じられる。

・浅草寺



・靖国神社



参考文献

- ・東京都庁「東京都年表」、東京都（最終閲覧日 2020 年 8 月 13 日）
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/tokyoto/profile/gaiyo/nenpyo.html>
- ・東京公文書館「東京の行政区画」大東京 35 区物語（最終閲覧日 2020 年 8 月 13 日）
https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/0714gyosei_kukaku.htm
- ・文化庁「東京名所図会 海運橋通り 第一国立銀行」、文化遺産オンライン（最終閲覧日 2020 年 8 月 13 日）
<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/236806>
- ・中央区観光協会「日本橋中洲地区」、中央区観光協会オフィシャルブログ（最終閲覧日 2020 年 8 月 13 日）
<https://tokuhain.chuo-kanko.or.jp/archive/2018/02/post-4942.html>
- ・港区立図書館郷土歴史館「浮世絵散歩江戸明治を歩く 紅葉館」、港区ゆかりの人物データベース（最終閲覧日 2020 年 8 月 13 日）
<https://www.lib.city.minato.tokyo.jp/yukari/j/ukiyoedetail.cgi?id=16>
- ・公益財団法人渋沢栄一記念館「王子製紙株式会社」、渋沢栄一ゆかりの地（最終閲覧日 2020 年 8 月 13 日）
<https://www.shibusawa.or.jp/eiichi/yukarinochi/album/13-J-0173-B0012-ph01.html>

あとがき ～貴重資料に触れて～

「明治改正東京全図」を読み込むことで、日本の中心地として栄えてきた「東京」の街の様子など、当時の様子について細かな情報が地図から読み取れることがわかりました。時代が変わるとともに姿を消してしまったものも多くあり、この地図を見ることで初めてその存在を知り興味深かったです。古い時代のことはその時期の資料を精読することによって情報を得ることができ、資料の重要さとその面白さを感じることができました。

※コレクションの閲覧は、作品保護のため、展示品を除き申請が必要です。また、利用は学術研究目的に限らせていただきます。

令和 5 年 11 月 2 日発行

令和 2 年度 日本文化論 A 受講生 編集
236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2
横浜市立大学 学術情報センター

第 147 回展示は令和 5 年 12 月上旬からを予定しています。